



事業実施結果概要①東浦町女性の骨粗鬆症や骨折・脆弱性骨折の状況

- 全対象者7,056名のうち令和4～5年度で脆弱性骨折をおこした人数は、359名(5.1%)であった
 - 骨粗鬆症と診断された方371名のうち脆弱性骨折をおこした人数は、51名(13.7%)であった
- 本事業で骨粗鬆症と診断されたとの回答があったのは16名であった
 - そのうち、令和4～5年度に骨粗鬆症の診断がなく、本事業で新たに診断された方は14名であった
 - この14名は骨粗鬆症リスク予測AIにより対象者として抽出された方であった

令和4～5年度の骨粗鬆症や骨折・脆弱性骨折の状況

①対象者		R4～R5年度に国保または後期高齢者の女性 7,056名			
②骨粗鬆症 (①に対する割合)		骨粗鬆症診断あり 371名(5.3%)		診断なし 6,685名(94.7%)	
骨折 (②に対する割合)	あり計 430名	あり 60(16.2%)	なし 311	あり 370(5.5%)	なし 6,315
脆弱性骨折 ・ 大腿骨 ・ 椎体 (②に対する割合)	あり計 359名	あり 51(13.7%)		あり 308(4.6%)	

本事業での骨粗鬆症診断者数と対象者抽出方法

骨粗鬆症 診断結果	骨粗鬆症計 16名	骨粗鬆症診断：2名 R4-5骨粗鬆症診断あり レセプトによる対象者抽出	骨粗鬆症診断：14名 R4-5骨粗鬆症診断なし AIによる対象者抽出
--------------	--------------	---	--

事業実施結果概要②介入対象者の行動変容

- ・ AIやレセプトで抽出された対象者を二群に分け、DMのみまたはDM＋検査キットを送付した
- ・ DMのみ送付した方のうち14名、DM＋検査キットを送付した方のうち8名が医療機関を受診した
- ・ 検査キットを利用した方の多くが医療機関を受診せず、検査キットが医療機関受診の代替物と認識された可能性がある

抽出方法や送付物ごとの医療機関受診者数や骨粗鬆症診断者数

抽出方法	DMのみ送付			DM＋検査キット送付				
	対象者数	医療機関受診*	骨粗鬆症診断*	対象者数	キット利用	基準値未満	医療機関受診*	骨粗鬆症診断*
AI 骨折あり	87	8 (6)	6 (5)	87	11	9	3 (3)	3 (3)
AI 骨折なし	48	4 (1)	4 (1)	48	4	1	1 (1)	1 (1)
レセプト	115	2 (1)	1 (0)	115	4	3	4 (1)	1 (0)
合計	250	14 (8)	11 (6)	250	19	13	8 (5)	5 (4)

*; ()内の人数は未治療者の内数

事業実施結果概要③事業の効果

- 骨粗鬆症の診断がない住民は6,685名であり、全体を対象とすると大規模事業となるが、今回は骨粗鬆症リスク予測AIによる抽出により約300人の小規模で実証を実施
- AIを活用したハイリスク者抽出により、効率的・効果的に骨粗鬆症の潜在患者を治療へと誘導できる可能性を確認できた

骨粗鬆症の診断がない住民の年齢区分とAIによる抽出と骨粗鬆症診断の状況

項目			40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80-89歳	90歳-	計
①	骨粗鬆症の診断がない住民	人数	280	440	1,156	2,297	1,992	511	6,685
		比率	4.2%	6.6%	17.3%	34.4%	29.8%	7.7%	100%
②	①のうち AIによる抽出対象者	人数	0	1	15	44	117	82	259
		比率	0%	0.4%	5.8%	17.0%	45.2%	31.6%	100%
③	②のうち 医療機関で骨粗鬆症と診断 された方	人数	0	0	1	2	10	1	14
		比率	0%	0%	7.1%	14.3%	71.5%	7.1%	100%

- AIを使って対象者を抽出することで、幅広い年齢区分からハイリスク者の抽出が可能
- 医療機関での検査結果、計14名が新規に骨粗鬆症と判明。幅広い年齢層で新たに骨粗鬆症患者が確認された